

## 令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立 旭 中学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や生徒の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって生徒を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、令和3年度「全国学力・学習状況調査」における本校生徒の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

### 【調査の概要】

#### 1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 2 調査期日

令和3年5月27日(木)

#### 3 調査対象

小学校 第6学年(国語, 算数, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語, 数学, 生徒質問紙)

#### 4 本校の参加状況

① 国語 148人

② 数学 148人

#### 5 留意事項

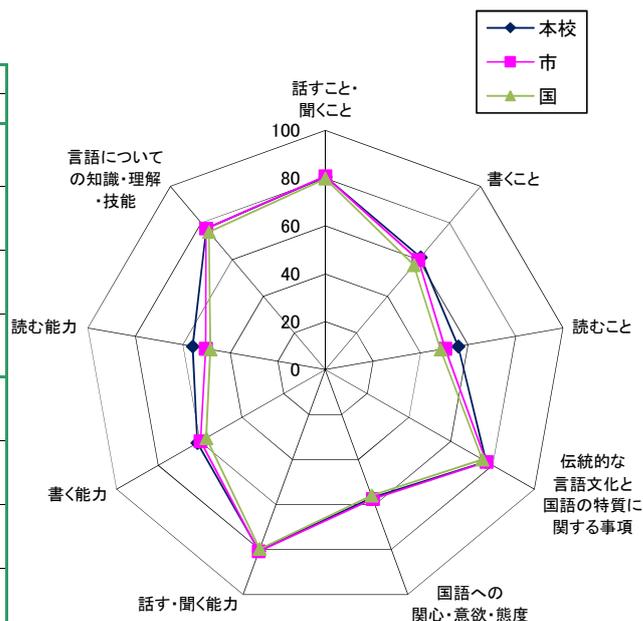
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、数学の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、 「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

# 宇都宮市立 旭 中学校第3学年【国語】分類・区別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

### 【国語】

| 分類  | 区分                   | 本年度  |      |      |
|-----|----------------------|------|------|------|
|     |                      | 本校   | 市    | 国    |
| 領域等 | 話すこと・聞くこと            | 80.6 | 80.8 | 79.8 |
|     | 書くこと                 | 61.3 | 59.8 | 57.1 |
|     | 読むこと                 | 55.9 | 50.4 | 48.5 |
|     | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 76.9 | 77.0 | 75.1 |
| 観点  | 国語への関心・意欲・態度         | 56.9 | 57.5 | 56.0 |
|     | 話す・聞く能力              | 80.6 | 80.8 | 79.8 |
|     | 書く能力                 | 61.3 | 59.8 | 57.1 |
|     | 読む能力                 | 55.9 | 50.4 | 48.5 |
|     | 言語についての知識・理解・技能      | 76.9 | 77.0 | 75.1 |



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

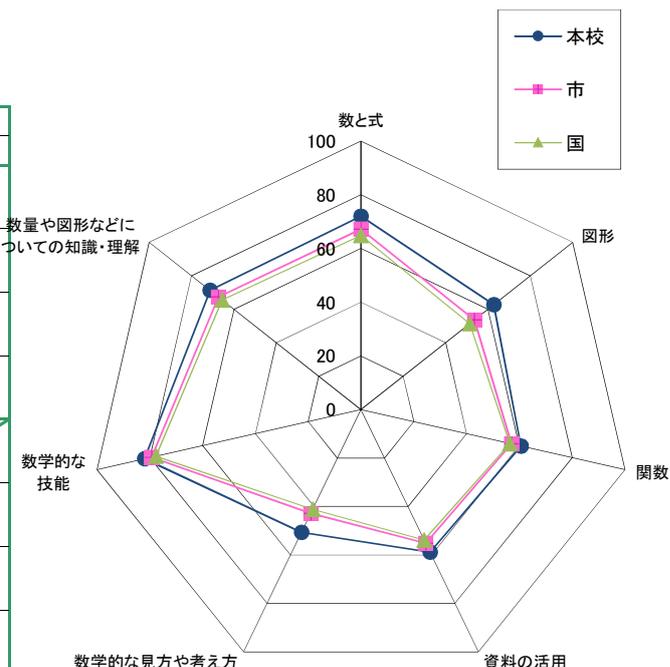
| 分類・区分                | 本年度の状況  | 今後の指導の重点   |
|----------------------|---|--|
| 話すこと・聞くこと            | <p>○正答率が全国平均より、0.8ポイント高い。特に、「話し合いの話題や方向を捉える」問いの正答率は、全国平均より2.9ポイント高い。</p> <p>●「話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える」問いでは、3.4ポイントの無回答率が見られた。</p>                 | <p>・今後も様々な話題について話し合う機会を多く設ける。</p> <p>・話の内容や表現の仕方を評価しながら聞き、自分の考えを広げていくことができるように指導する。</p> <p>・相手や目的に応じて、自分の思いや考えが分かりやすく伝わるような表現の工夫を話し合わせる。</p> |
| 書くこと                 | <p>○正答率が市平均より1.5ポイント高い。特に、「書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える」問いの正答率は、市平均より2.2ポイント高い。</p> <p>●「書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く」問いでは、正答率は3割に届かなかった。</p> | <p>・今後も文章を推敲させる学習活動の際には、目的や意図、伝える相手などを意識させながら行わせる。</p> <p>・段落の役割や段落どうしの関係を意識しながら、書きたい内容を整理させ、それを再構成する学習活動を展開する。</p>                          |
| 読むこと                 | <p>○正答率が市平均より5.5ポイント高い。特に、「文脈の中における語句の意味を理解する」問いの正答率は、市平均より15.6ポイント高い。</p> <p>●「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ」問いでは、市平均より1.0ポイント低い。</p>            | <p>・場面の展開や表現の工夫に着目しながら、作品を読み進められるようにする。</p> <p>・場面ごとの人物の考えや人物どうしの関係を捉えて、自分の考えをまとめられるようにする。</p>   |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | <p>○正答率が全国平均より1.9ポイント高い。特に、「相手や場に応じて敬語を適切に使う」問いの正答率は、市平均より7.7ポイント高い。</p> <p>●「文脈に即して漢字を正しく読む」問いでは、8.8ポイントの無回答率が見られた。</p>                          | <p>・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使えるようにする。</p> <p>・語感を磨き、語彙を豊かにできるように、文章の中で様々な語句に着目しながら読むように指導する。</p> <p>・文脈に即した漢字をきちんと使えるように、普段から漢字の書き取り練習に取り組ませる。</p> |

# 宇都宮市立 旭 中学校第3学年【数学】分類・区別正答率

## ★本年度の国, 市と本校の状況

### 【数学】

| 分類 | 区分                | 本年度  |      |      |
|----|-------------------|------|------|------|
|    |                   | 本校   | 市    | 国    |
| 領域 | 数と式               | 72.0 | 67.2 | 64.9 |
|    | 図形                | 62.7 | 53.6 | 51.4 |
|    | 関数                | 60.6 | 57.0 | 56.4 |
|    | 資料の活用             | 58.8 | 55.1 | 53.8 |
| 観点 | 数学への関心・意欲・態度      |      |      |      |
|    | 数学的な見方や考え方        | 50.6 | 42.8 | 41.1 |
|    | 数学的な技能            | 82.0 | 79.3 | 77.7 |
|    | 数量や図形などについての知識・理解 | 71.3 | 67.4 | 65.6 |



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況   | 今後の指導の重点   |
|-------|--|--|
| 数と式   | <p>○正答率が市平均よりも5.2ポイント、全国平均よりも8.9ポイント高い。特に、「事柄が成り立つ理由を説明する」問題では、全国平均よりも9.1ポイント高い。</p> <p>●「事柄の特徴を数学的に説明する」問題では正答率が37.8%と全国平均よりは高いものの、無回答率は21.6%だった。</p>                   | <p>・計算問題については授業で適宜演習の時間を設け、定着を図る。</p> <p>・数の性質を文字で表すことについては、表現だけでなくなぜそのような形で表せるのかを理解させる。</p> <p>・示そうとしている性質の定義と、その説明のために必要な表現方法を演習を通して理解させる。</p> |
| 図形    | <p>○正答率が市平均よりも9.1ポイント、全国平均よりも11.3ポイント高い。特に、「四角形が平行四辺形になることの理由を説明する」問題では、全国平均よりも19.9ポイント高い。</p> <p>●「図形の性質を見出し、それを数学的に表現する」問題では、正答率が36.5%と全国平均よりは高いものの、無回答率も22.3%だった。</p> | <p>・合同条件は証明で必ず用いるので、一言一句間違わずに覚えさせる。</p> <p>・問題を解く上で、図形や式の性質を見出したり、数式等で表現することを意識させながら取り組ませる。</p>  |
| 関数    | <p>○正答率が市平均よりも3.6ポイント、全国平均よりも11.3ポイント高い。特に、「問題解決の方法を数学的に説明する」問題では、全国平均よりも6.1ポイント高い。</p> <p>●「問題解決の方法を数学的に説明する」問題の正答率が3割に留まっており、無回答率が18.2%だった。</p>                        | <p>・関数の単元では「表」「式」「グラフ」をそれぞれ作ることと、「表から式」「式からグラフ」など、関連付けをしながら定着を図る。</p> <p>・数値を求めるには代入して計算の習得が必須である。「数と式」における式の値を求める問題の確実な定着を図る。</p>               |
| 資料の活用 | <p>○正答率が市平均よりも3.7ポイント高い。特に、「判断の理由を数学的な表現を用いて説明する」問題では、全国平均よりも10.5ポイント高い。</p> <p>●「与えられたデータから中央値を求める」問題では、正答率が全国平均より0.7ポイント低い。</p>  | <p>・中央値を含めた様々な代表値について、その意味と求め方を1つ1つ丁寧に扱う。</p> <p>・グループワークなどを通して、多様なデータの読み取り方と表現方法を意識しながら取り組ませる。</p>  |

## 宇都宮市立 旭 中学校 第3学年 生徒質問紙

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○人の役に立つ人間になりたいと考えている生徒の割合が82.6%と、全国・県平均より高い。具体的な将来像をさらに描いていけるような情報の発信や収集方法を工夫させながら、卒業期に控える進路決定に際しての重要な決定条件にも加味されるよう、さらに意識を向上させたい。

●自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う生徒の割合が、全国・県平均より高い。ただし「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表現できる」設問では、全国・県平均より肯定的回答割合が低い。今後、日常生活からきちんとした表現で伝えていくような生活を心掛けるように意識させ、より良いコミュニケーション能力の向上を目指したい。

○「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の肯定的回答割合が、全国・県平均より高い。自主学習への取り組みが習慣化され、日常生活の中にしっかりと定着化が図られてきている。一方、6.7%の生徒が学習への取り組みに全くめどが立っていない。計画的に家庭学習への取り組みがされていない生徒に対し、細やかに寄り添いながら計画的な学習の継続が日々図られていくように粘り強く関わり、しっかりと習慣化し基礎学力の向上が確実に図れるよう力を入れたい。

○土曜日や日曜日に学習する時間に関する設問で、68.5%の生徒が3時間以上と回答した。全国・県平均よりも高い値であり、学習に対する習慣化が確実に図られている生徒が多いことが伺える。一方、9.4%の生徒が1時間未満と回答した。今後は、平日及び休日における家庭学習への取り組みをしっかりと定着させるよう支援を続けたい。

○コンピューターやICT機器に関して、友達と意見交換したり調べたために利用する頻度に関する設問で、64.4%の生徒がほぼ毎日活用していると回答した。全国・県平均が10%未満であるの比べて、特筆的に高い値である。年度当初からタブレットを活用したICT授業の展開を全校体制で実践してきた結果が反映されている。今後も、学習の目的に合った活用方法を検討しながら、更なるICT機器の活用技能の向上を目指したい。

## 宇都宮市立 旭 中学校 (第3学年) 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組   | 取組の具体的な内容  | 取組に関わる調査結果  |
|----------|--|---|
| 家庭学習の習慣化 | 自主学習ノート(実施5年目)を使って、生徒自らが学習課題を考え、毎日1ページ程度取り組み、提出するよう指導する。 | 「家で自分で計画を立てて勉強していますか」に対する肯定的な回答割合が73.2%で、県平均より4.7ポイント、全国平均より9.7ポイント高い。<br><br>「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか」に対する肯定的な回答割合が45.0%で、県平均より4.8ポイント、全国平均より7.4ポイント高い。 |